みなさんの暮らしとつながっています。

はまだ議会だより

主な記事（６月定例会の報告）

可決議案…… 2
市政を問う（個人一般質問）… 6～12
議会報告会を開催しました……14～15

Vol.50
平成30年(2018年)9月1日発行

平成30年６月定例会

ふるさと体験村維持管理予算に初の修正動議

６月定例会では市長提出の議案12件と報告事項７件について審議しました。条例関係では浜田市病後児保育室条例が制定され、本年８月から市役所本庁において病後児保育が始まります。平成30年度一般会計補正予算（第１号）では、ふるさと体験村維持管理事業に対して予算決算委員会では13名の委員から質疑があり、本会議においては初めての修正動議が出されました。この予算案は賛成多数で可決されましたが、検証委員会の報告書を踏まえた再生には大きな課題があることが浮き彫りになりました。

主な可決議案

条例・浜田市病後児保育室条例

病気の回復期にある乳幼児及び児童を一時的に預かる場を提供する。

【内　容】
〇場　所：浜田市役所地階
〇時　間：午前８時15分から午後６時
〇休　館：土、日曜、法律に規定する休日
　　12月29日から翌年１月３日
〇使用料：１人１日当たり2,000円

契約・工事請負契約の締結

一般競争入札に付した工事の請負契約を締結するため。

【内　容】
〇工事名：平成29年災害栃下川河川災害復旧工事（第331号）
〇金　額：33,048万円
〇契約の相手：㈱毛利組

予算・平成30年度浜田市一般会計補正予算

【補　正　額】
補正前：3,945,000万円
補正後：3,974,266万円
補正額：　29,266万円

【主な補正事項】

①病後児保育室管理運営費
〇補正前：　878万円
〇補正後：　919万円
〇補正額：　41万円

②ふるさと体験村維持管理費
〇補正前：3,491万円
〇補正後：6,704万円
〇補正額：3,212万円

③交付金事業の決定
〇補正前：　64,132万円
〇補正後：　56,281万円
〇補正額：△ 7,851万円

④災害復旧費
〇補正前：61,866万円
〇補正後：87,458万円
〇補正額：25,592万円

市税条例改正など3件の議案を審議

総務文教委員会

総務文教委員会に審査を付託された議案3件について審査を行いました。

「浜田市税条例の一部を改正する条例について」は、国の生産性向上特別措置法の制定を受け、市の促進基本計画が策定された。認定されると新規設備投資の固定資産税がゼロだが該当する企業があるのか、また新規設備投資で3％以上の生産性向上とはどの様な計算式なのかとの質疑に、現在該当企業は1者と聞いている。計算式は営業利益に人件費と減価償却費を加算したものを労働者の人数で割る。その数値が導入前より3％以上上がっていれば良いとの答弁がありました。

「浜田市教職員住宅条例の一部を改正する条例について」は、浜田市の教職員住宅の入居状況や耐用年数、用途廃止後の活用について質疑があり、全市で12カ所あり43戸入居可能だ。耐用年数は木造40年、鉄筋60年で用途廃止後の活用については民間へ売却し活用するとの答弁がありました。

用途廃止した旭ヶ丘教職員住宅

「財産の取得について（小型動力ポンプ付き軽積載車）」は、更新車両の耐用年数、市内4者が入札辞退した経緯を問う質疑に、性能が向上し今は25年にしている。入札は消防・防災等で登録のある事業者市内4者と県内3者を総務課から指名した。市内4者が辞退した。違いは県内3者はポンプメーカーの系列ということとの答弁がありました。議案3件は、全会一致で可決すべきものと決しました。

小型動力ポンプ付き軽積載車

直営の病後児保育室を市庁舎内に開設

福祉環境委員会

福祉環境委員会に付託された議案3件について審査を行いました。

「浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について」は、省令の改正内容について質疑があり、改正点は3点で、代替保育に係る連携施設の確保義務が緩和されたこと。家の中で調理しなければならないという規定の猶予期間が延長されたこと。家庭的保育者の家で保育を行う場合、食事の提供の外部搬入が可能になった。すべて事業者にとって有利になったと考えられる、との答弁がありました。

「浜田市病後児保育室条例の制定について」は、回復期にある児童の判断についてや預かる期間と利用料2千円の内訳、事前登録について質疑があり、症状によって線引きが難しい。高熱があるとか絶対安静期を過ぎて、もう少し様子見が必要な場合が該当する。詳しくはかかりつけ医の判断に任せる。預かる期間は1週間としているが、不測の事態には対応したい。2千円はあくまでも利用料で必要なものは持参していただく。病気の子どもを預かる重みがあるため、予防接種の履歴など状態を把握しておく必要があり、必ず事前登録をしていただく、との答弁がありました。

「浜田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について」は、この改正は市にとって支援員確保の上で有利になるのかや教員免許について質疑があり、教員免許についてはもともと免許を持っていて今は有効でなくなっているケースが出てきたので、明確化された。支援員は今後は学歴によることなく、補助員として5年間関わっていただけば主任支援員にもなっていただける、との答弁がありました。

この議案3件は採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

放課後児童クラブ支援員のもと、安全で楽しい時間を過ごす児童達
（放課後児童クラブと公民館の連携活動の様子）

民間造成に伴う市道譲渡の流れと市負担は

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された議案2件について審査を行いました。

「工事請負契約の締結について（平成29年災害栃下川河川災害復旧工事）」は、工事入札予定価格や入札参加数と特別共同事業体もしくは区間分割発注としなかった理由について質疑がありました。落札率は95パーセント以上で、参加企業は1者である。また工事管理状況や経費面から、単一企業の発注になったとの答弁がありました。

河川災害復旧工事現場

「市道路線の認定について（浜田561号線外）」は、以前あった古い道路も含めて新たな区間として市道認定される考え方と回転場がない理由について質疑がありました。古い485号線の区域を削除して562号線に取り入れ変更し整理をした。また対象の道路は幅員が6mあるので規定により、回転場を設置する必要がないとの答弁がありました。

また民間造成に伴う譲渡を引き受ける場合の流れと登記の費用負担について質疑がありました。民間業者から市道認定協議書の提出を受け、計画内容を審査し、市道認定申請書を受理する。名義変更については、市が実施するが、負担金はないとの答弁がありました。

市道認定された路線（野原）

議案2件については、全会一致で可決すべきものと決しました。

またも、「ふるさと体験村事業」へ質疑集中

予算決算委員会

予算決算委員会に付託された**「平成30年度浜田市一般会計補正予算（第1号）」**について審査を行いました。

特に意見が集中したのは**「ふるさと体験村維持管理事業」**で、3月定例会に引き続き13名もの多くの委員から質疑がありました。試算の正確性や核になる収益事業、地域との連携への質疑に、収入を過去3年間の平均8割、支出は28年度を基本に試算した。体験交流部門を核とし、地域と一体となった体験メニューで宿泊につなげたいとの答弁がありました。また、一旦事業を止めて改めて専門家に収支計画を立ててもらっては、という質疑には、一旦止めるとなると雇用関係にかなり調整が必要となる。予算がかかっても未来への投資と捉えて、続けながら改善していきたいとの答弁がありました。

その他の主な質疑として、**「特別保育事業」**の病後児保育室管理運営費では、ミニキッチンやトイレ設備、全体の衛生面についての質疑があり、目隠しをした電気式コンロの設置、一階の女性用トイレを併用する。衛生面については、人の導線を県とも確認しているとの答弁がありました。

「浜田開府400年記念イベント事業」では、全体事業費予算についての質疑に、財政課と協議をしていて、最終的には次年度予算編成に反映されるとの答弁がありました。**「公衆用無線LAN整備事業」**では、本庁や支所も国の補助対象に該当したとのことであり、今後は市内に環境を整える取組をしたいとの答弁がありました。

延べ35名の委員からの質疑により審査を行い、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

審査の様子

平成30年6月定例会議案等の賛否の公開（本会議）

反対理由の詳細については市議会ホームページをご覧ください。浜田市議会ホームページ→会議日程・結果→賛否の公開

議案番号	議　案　名	賛成	反対
承認第１号	専決処分の承認について（浜田市税条例等の一部を改正する条例）	23	0
承認第２号	専決処分の承認について（平成29年度浜田市一般会計補正予算第９号）	23	0
議案第44号	浜田市税条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第45号	浜田市教職員住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第46号	浜田市立図書館協議会条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第47号	浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第48号	浜田市病後児保育室条例の制定について	23	0
議案第49号	浜田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第50号	財産の取得について（小型動力ポンプ付軽積載車）	23	0
議案第51号	工事請負契約の締結について（平成29年災害栃下川河川災害復旧工事）	23	0
議案第52号	市道路線の認定について（浜田561号線外）	23	0
議案第53号	平成30年度浜田市一般会計補正予算（第１号）　**反対：三浦、西川、川上、笹田、澁谷、西村**	17	6
議案第53号（修正動議）	平成30年度浜田市一般会計補正予算（第１号）（ふるさと体験村整備事業の修正案）　**賛成：三浦、西川、川上、笹田、澁谷、西村**	6	17

また、陳情について23件の審査を行いました。陳情の件名や審査の結果については市議会ホームページをご覧ください。
浜田市議会ホームページ→請願・陳情・傍聴→請願・陳情の審査結果

議案に対して討論を行いました

6月定例会では提出された一般会計補正予算案に対して「ふるさと体験村」の維持管理費分を減額する修正動議（※）が提出されました。

議案第53号「平成30年度　浜田市一般会計補正予算（第1号）」

原案に対する反対討論

西村　健　議員

市の再生ストーリーに市民参加を募る形ではふるさと体験村再生は失敗する。この際、体験村の事業は一切中止し、検証から再生までの徹底した議論を市民主体で行ってこそ、再生の道は開ける。

修正案に対する賛成討論

西川　真午　議員

ふるさと体験村について、経営改善無きままの収支計画に基づく補正予算は、市民の理解を得られない。事業を一旦休止し、再生案を練り直してからの事業再開が必要と考えるため、本案に賛成。

笹田　卓　議員

ふるさと体験村について、検証委員会の再生案を持たず、地元住民参加の状況が見えない中でのふるさと体験村の再生は難しいと判断。

※修正動議とは
原案に対して議員が修正の議案や意見を提出する動議のことです。予算案に対する修正動議は、一般的に予算の減額を求める動議が提出されます。修正動議が可決された場合は、原案のうち該当部分へ反映されます。

市政を問う ―20名が論戦（個人一般質問）

【一般質問とは】
各議員が市民の代表として、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。
「議会だより」では限られた字数で編集しています。詳しい内容については市議会ホームページでご覧いただけます。

中山間地域生き残りの仕組みづくりパートV

飛野弘二

質問 平成32年度末で期限を迎えるのを前に対策の検証や新たな課題を調べる「県過疎地域対策研究会」を設置。浜田市としても中山間地域振興に関わる課題解決の仕組みづくりを要望する必要があると思うが具体的な考えを問う。

市長 現在「中山間地域対策プロジェクトチーム」を立ち上げ部局を横断した支援策の構築を進めている。議論した課題解決の仕組みづくりや支援策を「過疎地域対策研究会」に提案しながら、中山間地域への支援の充実のため過疎法の延長を要望して参ります。

質問 「鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業」の交付金実施要領の一部改正されたがその概要を問う。

産業経済部長 イノシシ・シカの成獣の交付金が変更になり、今年度から食肉加工された場合9千円にそれ以外は7千円に変更された。

質問 国もジビエ倍増計画を推進している。浜田市も東部（旭・金城）地区に新たに民間による加工処理施設が必要と考えるが所見を問う。

産業経済部長 前向きに検討する。

古民家の活用で交流人口を増やす仕組みづくりに挑戦

体験村、コンセプトの議論から再スタートを

西村健

質問 4月から直営となったふるさと体験村の運営状況、及び今後の考え方について問う。

弥栄支所長 売上については前年度比6割と見込んでいたが、現状ではそれも厳しい状況にある。体験村を魅力ある施設として再生させるため、指定管理者の公募に向けた準備に取組む。

質問 体験村施設経営検証委員会による検証の目的・内容について問う。

弥栄支所長 ふるさと弥栄振興公社の経営悪化の要因及び一連の不祥事発生の原因についての検証と、今後の施設運営に向けた提言をいただく。

質問 市は、市としての検証・総括の必要があると考えるがどうか。

弥栄支所長 公社の不祥事の発生については、市の管理監督が不十分であったと考えている。体験村に対する市の関与については、市の内部で総括する。

質問 市が勝手に現在のコンセプト継続を決めるのではなく、コンセプトの議論から始めることこそ体験村の再生計画づくりに必要不可欠ではないか。

弥栄支所長 検証委員会や地元住民の意見を踏まえ、再生計画づくりを進めていきたい。

ふるさと体験村

総合防災訓練の成果は 消防力の強化を

永見利久

質問 自治区での、総合防災訓練の連絡体制の確立、避難所開設について問う。

総務部長 自主防災組織が中心となり、民生児童委員や公民館等が協力組織となって連絡や避難行動等を行った。避難所は49カ所開設した。

質問 各自治区の防災訓練、消防団活動、地域の防災会や防災センター等の活動について問う。

総務部長 消防団は、避難訓練での警戒広報訓練や避難支援等を行った。防災センターについては、自主防災会の訓練時の活動拠点で、今回避難訓練の避難所として使用した。

質問 避難所、福祉避難所の運営について問う。

総務部長 訓練に参加された自主防災会、自治会の団体は、避難所で安否確認や炊き出し訓練等を行った。金城自治区では福祉避難所を開設した。

質問 自治区の消防出張所署員3人体制について問う。

消防長 3人当直体制では災害が重複した場合、対応は近い署所から出動し連携強化に努めている。

質問 消防力強化を目的に東部、西部消防署の体制の現状認識を問う。

消防長 人員体制はそれぞれ、署長以下19名体制が現状は十分でない。効率的、持続可能な消防体制のあり方を検討する。

要支援者の避難誘導訓練

畦畔管理の支援 このままでいいのか

串﨑利行

質問 畦畔率は、全国平均4％、浜田市は13・8％であり全国平均の3倍以上である。畦畔管理が経営を圧迫していると感じているが、市の支援状況を問う。

産業経済部長 畦畔除草省力化事業を実施している。畦畔に芝生「センチピートグラス」の吹き付けをすれば事業費の、約50％支援している。

質問 畦畔管理は、最優先で取組む事業と思うが、支援拡大の考えを問う。

産業経済部長 前向きに検討する。

質問 森林管理制度が新たにスタートした。所有者が管理できない森林は、市が管理集約し、採算ベースに乗る森林は担い手に管理を委託し、採算が合わなければ、市が自ら管理する。この制度は、来年度より始まるが市の対応を問う。

産業経済部長 今年度は、林業関係機関と市により協議会を設置する。業務を円滑に行うためには、職員のスキルアップや森林経営に精通した人材の配置、石央森林組合等との連携協力を得やすい新たな体制づくりを検討する。

その他の質問

○スマート農業について

○他出子について

○地域おこし協力隊

センチピートグラス吹付作業
（弥栄・法人いなしろ）

子どもの安全安心 登下校の見守り体制は

柳楽真智子

質問 女子児童が殺害されて線路に遺棄されるという痛ましい事件が起こった。地域での登下校の見守り体制をつくることが重要だと考えるが、現在の状況を問う。

教育部長 PTA役員や地域ボランティアで構成される見守り隊、事業所等の見守り隊の尽力により、児童生徒への声かけや見守り活動をしていただいている。

質問 公園などの遊具の点検は定期的に行われているのか問う。

都市建設部長 市の職員が年3回程度点検している。遊具の腐食や破損等の異常があれば、直ちに使用禁止にして修繕等をおこなう。廃校の敷地にある遊具の点検は、利用者からの通報により修繕等の対応をしている。

質問 遊具に点検済みであることが分かる表記ができないか問う。

都市建設部長 安心して使用していただくために、周知をすることは必要であり、今後、点検済みのシールを貼るなど対応策を検討する。

質問 福祉バスは車いすの利用者なども容易に乗降可能なものが望まれるが、所見を問う。

健康福祉部長 ニーズも含め、次回の車両更新時に検討する。

遊具の定期点検で子どもの安全安心を

広島PRセンターの現状と対策をどうする

川上幾雄

質問 広島PRセンターの現状と来客状況を問う。

産業経済部参事 誘客数は減じたが目標には達している。来客は事務所統合により立ち寄りにくくなったと聞く。

質問 統合以降PRセンターへの来客数が激減している。今後誘客数へ影響しかねない。対応はどうするのか。

産業経済部参事 今後一層、お客様に気軽にお立ち寄りいただける事務所環境の整備を行い。さらなる観光誘客に努める。

質問 PRセンターは情報交換の場であり、営業の場所ではない。利用客の『もう利用しない。』との言葉をどのように受け止められるか。

市長 真摯に受け止め、対策を講じる。

質問 地籍調査に良策はあるか。

都市建設部長 担当職員の増員と予算の確保。筆界のスムーズな確定が進捗につながる。

質問 良策を求めた。工夫も必要ではないか。

都市建設部長 航空写真の活用等も検討できる。

質問 国土交通省林務部が実施している『森林境界明確化事業』の精度を上げるための工夫を市単独事業で行い、活用してはどうか。

市長 事業の活用について内部で検討する。

『広島事務所(広島PRセンター)』入口ドアを開けたら応接セット。『ここで良いのか』

入湯税は目的税の主旨に沿って条例改正を

西田清久

質問 入湯税は、同じ鉱泉浴場でも宿泊施設の有る無しで徴収するのではなく、宿泊入浴か日帰り入浴か客単価に応じた条例改正が望まれる。これまでも質問してきたが、他の自治体ができて浜田市がなぜできないのか、本気で取組む気持ちがあるのか問う。

産業経済部長 これまでの質問を受け、財務部及び金城、旭、三隅の各支所と協議を重ねてきた。しかしながら温泉施設の皆さんから「入湯税を引き下げても入浴料は改正できない」等の意見もあり、入湯税の改正を断念した。その代替案として敬老入湯券事業を今年度から開始した。

質問 私の考えは、日帰り入浴だけの客からは入湯税を徴収しないで入浴料も改正しない。

市の税収は減額になるが、浴場経営者が圧迫感から多少解放され、元気で事業継続されることの方が優先と考える。再度所見を問う。

産業経済部長 考え方の違っていたことが理解できた。すぐにとはいかないが、財務部としっかり検討していく。

その他の質問

○浜田港全体の将来像

○サンビレッジ浜田（屋内スケート場）の活用策

浜田市の上質な温泉施設

買い物弱者対策に全庁挙げての取組を

西川真午

質問 買い物弱者対策として雲南市で実施されている「ショッピングリハビリ」は、介護予防対策を兼ねた先進的な取組であるが、浜田市においても実施可能かを問う。

健康福祉部長 先進的な取組については研究を行い、介護保険事業者や商業施設等に情報提供や支援等を実施する。

質問 買い物弱者対策は、行政の各部署の連携や地域との連携が重要となるが、今後の進め方の方針を問う。

地域政策部長 庁内組織を横断する「中山間地域対策プロジェクトチーム」を設置した。買い物弱者対策もこのプロジェクトチームで検討する。

質問 外ノ浦が北前船寄港地として日本遺産に追加認定されたが、観光客誘致の方策は。

産業経済部長 まずは市民を対象としたウォーキングイベントで魅力を伝える。観光客受入体制としては、リーフレットの作成や観光ボランティアガイドの人材育成を進める。

質問 渡し船や貸しボートなどの海上移動で観光地の魅力が高まるが、実現の可能性は。

市民生活部長 行政としはできないが、民間や地域で取組むなら支援する。

ショッピングリハビリ（独自開発の楽々カートで買い物をする高齢者）

浜田市税滞納の状況を問う

沖田真治

質問 浜田市の市税の滞納金額と件数と滞納に時効はあるのか問う。

財務部長 平成29年度滞納件数2941件、約3億1千万円の滞納、市税の時効は地方税法の規定により5年。国民健康保険料、後期高齢者医療保険は2年で時効。

質問 滞納の理由をどのように把握しているのか。

財務部長 滞納が発生した時点で預金、給与、不動産などの財産調査、納付相談を行い、生活困窮者と支払い能力がある滞納者を区分して滞納整理を行っている。

質問 適正に納税をしている多くの市民との公平性は保たれているのか。

財務部長 地方税法の規定により、真に生活に困窮していると認めた場合滞納処分を停止するが、支払い能力がある滞納者へは、差し押さえなどの厳しい滞納処分を執行。

質問 「BUY浜田昼市」を実施していくのであれば、別の地区での開催も良いと思うがどうか。

産業経済部参事 「BUY浜田昼市」を開催することにより、「BUY浜田運動」の普及・拡大につながり、特色ある地元産品をPRする機会にもなる。今後は、各自治区を含め地域の方々と相談し検討する。

◆「浜田市長賞」

第19回小学生の「税に関する絵はがきコンクール」浜田市長賞受賞作品

児童生徒のインターネット利用環境対策を

道下文男

質問 社会情勢が急激に変化する中、児童生徒の「いじめ」「不登校」「インターネット環境」問題の対策は急務と考えるが、現状と対応策を問う。

教育部長 「いじめ」「不登校」は全国、県平均より高めで増加傾向にあり、インターネット環境の指導も昨今の学校教育では必須となっており、いろいろな角度からの対策強化に取組んでいる。

質問 SNSの利用時間やフィルタリング設定などの指導方法に極めて憂慮するが、考えを問う。

教育部長 保護者と児童生徒間でのルール作りの重要性を再認識しており、一昨年、市内高校生とネットルールづくりに取組んだことなども含め、今後も啓発推進に努める。

質問 いじめや不登校などの児童生徒の相談窓口に、SNSを取入れることへの考えを問う。

教育部長 全国で20以上の自治体が取組んでおり、デメリットがあるが研究する。

その他の質問

○国県をフル活用した人口減少対策について
○医療の充実について
○防犯カメラやドライブレコーダーの整備について
○実のある浜田市総合防災訓練について

インターネットの弊害が危惧される

福祉サービスの第一線 社協への支援充実を

芦谷英夫

質問 福祉サービスを担う社会福祉協議会への人件費助成は県内でも低く、積極的な支援の考えはないか。

健康福祉部長 福祉サービス向上のため、より充実した支援をしたい。慎重に検討し、社会福祉協議会と協議したい。

質問 社会福祉法人の地域貢献を促すため、具体的に支援し進める考えはないか。

健康福祉部長 地域課題や生活課題を把握し、社会福祉法人がどのような地域貢献ができるのか検討し、開催予定の情報交換会などで支援したい。

質問 指定管理者施設の運営管理や労務管理などのチェックをどう具体的に実行したのか。

総務部長 市職員が基礎的なチェックを行い、労務管理状況の把握、指摘事項を改善してもらうなど、効果的なモニタリングに取組みたい。

質問 給食業務に必要な委託料や管理運営費が削減されており、給食業務に影響はないのか。

教育長 給食運営の経費は、義務的経費ではなく、裁量枠経費のため毎年シーリングの対象となっており、給食の運営に影響が及ばないよう学校給食会と協議し、必要な予算は確保したい。

来春の入学が楽しみな親子給食会（浜田学校給食センター）

公設水産物仲買売場の移転新築は可能か

笹田　卓

質問　しまねお魚センターに公設水産物仲買売場を移転するのではなく、横に新築する考えはないか。

市長　時間がかかるので難しい。

築26年経過のお魚センター改築より新築の方が得策では？

質問　小学生の下校時に、ペットの散歩等をしている市民に見回り隊の腕章をしていただくことは、可能か。

教育部長　下校時の安全対策については、地域と一緒になって考えていく。

質問　市が保有する美術品や工芸品を市民に観て、触れて、感じてもらうことが必要では。

教育長　平成25年から浜田ゆかりの作品の展覧会を開催している。

質問　内田雇用促進住宅を若者住宅として、美川地区まちづくり委員会で運営することは可能か。

建設部長　平成33年度以降は「民間譲渡」の方針だが、管理体制を美川地区で構築できれば可能だと考える。

浜田市保有の美術品、工芸品を知ろう！

まちづくりの推進に公民館の力を

村武　まゆみ

質問　元気な浜田づくりには人づくりが必須で、公民館の役割は大きいと考えるが、まちづくりにおいて公民館の目指す姿について問う。

教育長　公民館は地域の拠点であり、住民とともに地域課題に取組む「まちづくりを推進する公民館」を目指す。

質問　浜田市の児童虐待防止体制はどうか。

健康福祉部長　全ての乳児家庭への訪問や、保育所幼稚園学校で状況確認をし、虐待の未然防止に努めている。また要保護児童対策策地域協議会議を月に一回開催し、連携体制を構築している。

質問　急激な社会の変化に伴い、学校においての様々な課題に向け、教育委員会、学校、保護者、地域が新たな視点で、真剣に向き合い解決するべきではないか。

教育部長　現在も学校一丸となり取組んでいるが、今後も各学校と密に連絡を取り、課題解決に向けて取組む。

質問　介護予防の住民主体の通いの場の推進について問う。

健康福祉部長　まずはサロン等で集い、住民主体で運動体操を継続的に実施できるよう推進する。

「住民主体の通いの場」の様子

お魚センターと仲卸の将来展望について

牛尾　昭

質問　今の仲卸市場は、旧元浜町から前浜が一番と言われて、現在地に建設された。単独建て替えが決まっているが、お魚センターから買い取り希望があり、仲卸の方達の移転合意も見込まれている。センターは低迷しており、早急な対策が必要である。センターの現状を問う。

産業経済部長　売上は激減で早期買取希望である。

質問　筆頭株主としての見解を問う。

産業経済部長　ここは市にとって大事な場所であり何とか生かしたい。

質問　仲卸の現状を問う。

産業経済部長　耐震化前のため危険で、業者に移転打診している。

質問　買取時期と改修金額を問う。

産業経済部長　時期は8月で約3億1千万円見込まれる。

質問　新しい施設の運営方針を問う。

産業経済部長　指定管理を予定している。

質問　観光協会が受けるのが妥当ではないか。

産業経済部長　募集して応募されればと思う。

その他の質問

○開府400年事業について

しまねお魚センター外観

医師の承継と病床ベッド減少は大きな問題

岡本正友

質問 国は「病院から在宅へ」の方針を示し、かかりつけ医師を身近で頼りになる安心できるものとして在宅生活を目指そうとしているが、後継者の承継問題から廃業される医院が増える状況にある。在宅治療の往診や訪問医療などの影響を懸念するが認識と対応を問う。

市長 医師の高齢化や後継者がいないなどによって医療機関が減少する状況は、市にとって大変大きな問題と認識する。医師会や医療センター、県などの関係機関と連携し地域医療が途切れないように対策を検討したい。

質問 国は団塊の世代が2025年に75歳以上の後期高齢者になることから医療費を抑制する目的で在宅への流れを推進。このことから病床ベッドを減らし、停止する状況にあるが、受け入れる側の在宅の看護や介護の環境など今後の予想される変化についてその認識と対応を問う。

市長 ますます患者が中核病院に集中し、適切なタイミングで受診できなくなることが心配される。引き続き医療従事者の育成に取組みながら医療と介護を切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの推進と市民の健康増進への取組強化を図る。

かかりつけ医の承継問題

時間外手当がない、教員の加重労働対策は

澁谷幹雄

質問 三隅火力発電所2号機建設に向けての工事請負に対し、地元企業優先の取組は。

産業経済部参事 産業政策課三隅発電所対策室を事務局として、営業情報や調達情報を地元受注希望業者に提供している。

質問 浜田市は、陸上競技場や野球場、サッカー場やテニス場など運動公園のビジョンを、なぜ市民に示さないのか。

教育長 現状は、改修で対応するしかない。

質問 美川小学校と第四中学校の新築を何故財政計画に盛込まないのか。

教育長 現在審議中だ。

質問 3割の教員が、時間外賃金が払われないまま、月80時間超の残業だ。小中学校の教員の加重労働対策は。

教育部長 教員の実態を踏まえた業務改善のガイドラインを策定中である。

質問 浜田藩における最も文化的偉業である、12代藩主から伊勢松阪の本居宣長への驛鈴贈呈を顕彰し、開府400年に合わせてのモニュメントは。

産業経済部長 間に合わない。

質問 物産展への地元企業の出店に対して、支援の減額はどうして。

産業経済部参事 事業の見直しに伴い減額したが、地元事業者の意見を聴いて対応したい。

浜っ子春祭りでの「驛鈴みこし」

通院が難しい高齢者等の宿泊施設が必要だ

小川稔宏

質問 国の医療制度変更により浜田医療センターでも長期入院ができなくなった。退院後に遠くから通院する高齢者等のための安く利用できる宿泊施設の整備について問う。

市長 市が施設を運営するのは難しいが、自宅からの通院が難しい方がホテルを使う例や、病院とホテルとの提携事例もある。駅周辺のホテルの活用等を含め研究したい。

質問 指定管理施設での社会保険労務士による労働条件審査の、計画的実施と予算化などの仕組みづくりについて問う。

総務部長 県内他市の取組状況や課題などを詳細に研究し、公費負担が妥当かを含めて検討する。

質問 「色覚異常」は男性の20人に1人、女性の500人に1人の割合でいるといわれる。色覚補正サングラスの購入費助成について認識を問う。

健康福祉部長 補正メガネの有効性については個人差があるようだ。有効性と購入費助成について今後研究していきたい。

質問 小中学校において「色覚異常」でも黒板の文字が見やすい色覚チョークの導入について問う。

教育部長 色覚特性の個々の状況を学校で確認し、必要に応じて色覚対応チョークを導入する。

国立病院機構浜田医療センター

市場を捉えた観光・交流事業を

三浦大紀

質問 地域文化を体感できるコンテンツづくりなど、滞在型観光の推進についてどう考えているか。

産業経済部長 ニーズの把握と導線の分析を行い、浜田らしいツアー商品づくりに取組む。

質問 民泊新法の施行で、田舎ツーリズム登録者への影響を懸念。煩雑な移行手続きに対する支援をどう考えているか。

産業経済部長 交流人口の拡大や地域活性化につながる事業。継続していただけるよう、丁寧な説明を県などと行い、本事業の推進に取組む。

質問 世界の旅行市場の6割は欧米人。実情を踏まえた、戦略的なインバウンド対策が必要では。

産業経済部長 石見神楽の日本遺産登録を目指す。映像制作、SNSの活用など、外国人向けのPR活動にも取組む。

質問 食文化は大切な地域資源。幼少期からの食育が重要。特に給食は、「浜田」に触れてもらえる貴重な機会。給食施設の統廃合議論においても、食文化継承の視点を大切にすべきではないか。

健康福祉部長 公民館や保育園で、魚食普及の活動を行っている。

教育長 工夫して、おいしく楽しい給食を提供。地産地消は、今後も推進。

田舎暮しについて話を聞く来訪者

開府400年事業は歴史と誇りの継承が大切

野藤　薫

質問 浜田開府400年事業について問う。

産業経済部長 昨年度から歴史に関する市民講座を開催、今年7月からガイド養成講座も始める。来年度は秋の式典に向けて、春夏秋冬と開府400年を冠に事業を計画している。

質問 『続・日本100名城』に浜田城址が選定されたが、御便殿の活用も含め今後について問う。

産業経済部長 浜田城址にはGW期間中、多くのお城ファンが来浜し、ゆかりの場所も訪れた。

御便殿は周辺道路の整備も進み、城山公園との連携や隣接する外ノ浦が日本遺産北前船寄港地に追加認定された。これを踏まえ活用を検討する。

質問 地域商業の振興について問う。

産業経済部長 さまざまな調査結果で市内事業者の厳しさは認識している。中小事業者支援と事業承継支援、起業・創業支援の3点について重点的に取組を進めている。

質問 原井と石見の統合幼稚園の現状、保育への要望について問う。

教育部長 統合幼稚園は新設の方向だが、再検討が必要だ。要望への対応策はサポート教諭加配、スクールバス利用、月1回給食の実施などである。

活用すべき御便殿

入居の際の保証人規定を削除すべきでは

佐々木　豊治

質問 民法改正により、個人根保証契約に限度額の設定が必要となることから、公営住宅入居に際しての連帯保証人を確保することが難しくなり、公営住宅に生活困窮者などが入れないような事態がおこることが懸念されている。このような状況から、「公営住宅管理条例」を改正し、保証人に関する規定を削除することが望ましいとの通知が国土交通省からだされているが対応を問う。

都市建設部長 今回の国土交通省の通知は、連帯保証人規定を削除することが望ましいと断言しているものではなく、各自治体への判断を投げかけるものと認識している。今後、条件緩和など福祉部局とも相談し検討する。

質問 豪雨災害などによる家屋への土砂崩れや農地被害については被害の助成制度があるが、床上浸水などの内水被害に対する助成はないと認識する。検討する考えはないか問う。

都市建設部長 現時点での助成制度は難しいと考えるが、自宅敷地のかさ上げや盛土工事に対する助成など研究したい。併せて、現地の浸水原因など調査し、対応策を検討したい。

その他の質問

○人工内耳支援の拡充他

浸水被害現場

議会からのお知らせ

9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
				8/30 **開会** 本会議 （議案の提案説明）	31 休会	9/1
2	3 本会議 （個人一般質問） →	4	5	6	7 本会議 （議案質疑） 予算決算委員会	8
9	10 総務文教委員会	11 福祉環境委員会	12 産業建設委員会	13 予算決算委員会 （9月補正審査）	14 休会	15
16	17 敬老の日	18 休会	19 予算決算委員会 （決算審査総務文教関係）	20 予算決算委員会 （決算審査福祉環境関係）	21 予算決算委員会 （決算審査産業建設関係）	22
23 秋分の日	24 振替休日	25 予算決算委員会 （予備日）	26 休会	27 予算決算委員会 （付帯意見協議）	28 本会議 （表決） **閉会**	29
30						

知ってナッ得

ー議会改革と活性化のためにー

浜田市議会では現在、市議会の憲法ともいうべき「議会基本条例」について、条例の目的が達成されているかどうか検証するとともに、現状に合っていないところはないかなど具体的に見直しをしています。

例えばよりわかりやすい議論とするため、現在規定している市長等の反問権に反論権を加える改正や情報公開の拡充方法として会議のインターネット録画中継等の努力義務を規定し、議会の見える化を目指します。

こうした見直しにより更なる議会改革と活性化に取組む決意を示したいと考えています。この見直しが決して画餅とならぬよう議員一丸となって努力してまいります。

平成30年７月豪雨災害に寄せて

このたびの平成30年７月豪雨による被害甚大の報せに接し、被災された皆さま方に対し心からお見舞い申し上げます。

犠牲になられた方々のご冥福と早期に復旧されますことを謹んでお祈り申し上げます。

浜田市議会も被災地の復興の一助となるよう取組んでまいります。

議会報告会を開催しました

議会報告会に多くの方にご参加いただきありがとうございました。
出された意見・要望を議員自身も共通課題とし、議会活動に役立てていきます。
主な意見・要望等について執行部の回答を掲載していますのでご覧ください。

１．自治区制度改正の時期と方向性をどのように議論されているのか。
【回答】次期制度については平成32年４月１日から運用できるように、自治区制度検討会議において各地域協議会を中心に意見交換をしながらまとめていきます。

２．Ｕ・Ｉターン者に活躍してもらえる施策を検討すれば、若者に限らず定年後の方も含めＵ・Ｉターンの増加にもつながるのではないか。
【回答】Ｕ・Ｉターン希望者の相談にのってもらったり、交流会等にも参加していただく場を設けることによりＵ・Ｉターン者の増加につなげたいと考えます。

３．農業者戸別所得補償制度打ち切り後、それにかわる助成制度が必要ではないか。
【回答】農業経営安定の仕組みや農業の多面的機能を考えると今後も直接支払に変わる政策の検討が必要と考えていますので、国の動向を見守りたいと思います。

４．公共交通空白地帯における有償運送の運営費確保に良い方法はないのか。
【回答】広告収入や世帯の協力金、クラウドファンディングの手法等も考えられますが、自主的な運営費確保には限界もあるため地域の実情も伺い対応します。

５．山奥、郡部を大事にし、浜田の奥座敷として、ふるさと体験村の立て直しを検討して欲しい。
【回答】「ふるさと体験村施設経営検証委員会」による提言をふまえて、地元とも連携しながら都市との交流活動を通じた地域振興を図ります。

６．高齢化で農地の荒廃が進むなか農地受託耕作者への支援策を考えて欲しい。農地集積と町中のイノシシ対策もお願いしたい。
【回答】認定農業者を目指す方への支援策も検討したいと思います。農地集積はまとまった農地を集積する場合に支援を行っています。イノシシ対策では農作物被害防止に努めていますが、補助事業等の詳細については市へご相談ください。

７．防災、消防に関わるデジタル無線機等の整備に予算を付けて欲しい。
【回答】消防団へのデジタル無線機の配備については、現在、関係各課と消防団とにおいて検討協議を進めています。

開催日時	会場	参加人数
５月14日㈪ 19：00～20：30	みどりかいかん	22人
	三隅公民館	12人
５月15日㈫ 19：00～20：30	弥栄支所	６人
	旭支所	35人
５月16日㈬ 19：00～20：30	浜田公民館	13人
	周布公民館	６人
５月17日㈭ 19：00～20：30	美川公民館	24人
	国府公民館	14人

12. ふるさと寄付金の使途について、市外からの来訪者でも目につく駅や公共施設に掲示するなど、使途の見える化をすべきだ。
【回答】いろいろな施設へのポスター掲示等について様々な方法を用いて使途の見える化を図ります。

13. 小さな拠点づくりの取組は重要な案件であるが、浜田市はなぜ真剣に取り組もうとしないのか。
【回答】島根県と連携した研修会を開催し小さな拠点づくりの意義や必要性の周知に努めています。また、今年２月には中山間地域対策プロジェクトチームを設置し調査・検討を行っています。

８．京町から朝日町までの商店街の賑わい対策と併せ、若者を県外に出さないために企業誘致を図るべきだ。
【回答】中小事業者支援、事業承継支援、起業・創業支援等の取組を通じて商店街や地域経済の活性化を図ります。若者が定着するためには多様な雇用の場が必要であるため、地元企業の魅力発信とともに業種をふまえた誘致活動を行います。

９．小中学校の学力不足に対して教員や放課後児童クラブ指導員を増やす政策と、タブレット端末の導入などIT化に予算を充てるべきだ。
【回答】教職員配置は県に要望し、市の学校支援員等の配置増に努めています。放課後児童クラブ職員は国基準以上の配置をしています。学校のパソコン台数を増やし、更新時のタブレット導入の検討と無線LANの整備計画等、IT設備の充実に努めています。

10. 川本町の定住対策は充実しているが、美川でも市の土地を利用した定住対策をすべきだ。雇用促進住宅を地元に譲渡し家賃を安くし若者向け住宅に改装してはどうか。
【回答】市営内田住宅建替後の跡地は若者の定住に活用できるよう検討します。雇用促進住宅については地元での買い取りは可能ですが、管理運営には多岐にわたる業務があり管理体制の構築が必要です。

11. お魚センターについて、萩のしーまーとや境港のような施設になるよう活性化して欲しい。
【回答】老朽化している公設水産物仲買売場の機能をお魚センターに移設できないか検討しています。浜田漁港エリアの活性化のために課題を克服し多くの市民や観光客に来ていただけるような魅力づくりに取組みます。

紙面の都合上、要約したものを掲載しています。
詳細は浜田市議会ホームページをご覧ください。
浜田市議会ホームページ→議会の取組→議会報告会

表紙について

この夏もたくさんの人が浜田の海を訪れました。
みなさんは、海をどんな風に楽しんでいますか。
風景をながめる、マリンスポーツに没頭する、食材を調達するなど…それぞれに関わり方は違うと思います。
子ども達には、郷育プログラムなどを通じて、海にまつわる様々な活動に触れる機会が用意されています。表紙はビーチ・フラッグス体験の一コマです。
この美しく、楽しく、そしておいしい浜田の海をいつでも満喫できるのは、私たちの特権。
これからも大切にしたい、浜田の宝物です。

地域井戸端会を開催します

市民の皆さまの市政へのご意見をお伺いするため、意見交換をメインとした地域井戸端会を開催します。
皆さまのお越しをお待ちしています。

日　時	開催会場	議　　員
10月22日(月) 19:00～20:30	上府自治公民館	柳楽真智子、西川真午、川上幾雄、布施賢司、西田清久
	老人憩いの家(杵束)	野藤　薫、三浦大紀、上野　茂、佐々木豊治、澁谷幹雄、牛尾　昭
10月23日(火) 19:00～20:30	石見公民館	道下文男、沖田真治、串﨑利行、飛野弘二、芦谷英夫
	長浜公民館	岡本正友、村武まゆみ、小川稔宏、笹田　卓、永見利久、西村　健
10月24日(水) 19:00～20:30	美川公民館	野藤　薫、三浦大紀、上野　茂、佐々木豊治、澁谷幹雄、牛尾　昭
	旭　支　所	柳楽真智子、西川真午、川上幾雄、布施賢司、西田清久
10月25日(木) 19:00～20:30	今福公民館	岡本正友、村武まゆみ、小川稔宏、笹田　卓、永見利久、西村　健
	三隅公民館	道下文男、沖田真治、串﨑利行、飛野弘二、芦谷英夫

あとがき

漁火（イカ漁の集魚灯）が望める夜の日本海。この漁火が年々減っているように感じます。そして、山間地で休耕田が一層増えているのは第1次産業衰退の表れではないでしょうか。

漁業・農業は浜田市の主幹産業であり、このことについて市議会は「産業建設委員会」、「中山間地域振興特別委員会」で検討・議論し最良な策が提案できるよう取組んでいます。

また、6月議会では修正動議が提出され、多くの議論が交わされた定例会となりました。

10月に市民の皆さまの意見をお聞きする地域井戸端会を開催します。

皆さまのご来場をお待ちしております。

（記　沖田　真治）

★この議会だよりは1部あたり42・4円でできています。

【編集委員】
委員長　小川　稔宏
副委員長　川上　幾雄
委員　三浦　大紀
沖田　真治
西川　真午
村武まゆみ
笹田　卓
芦谷　英夫
田畑　敬二
澁谷　幹雄

〔議長なんでもメール〕　議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会ホームページ→議長なんでもメール

発行：浜田市議会　編集：議会広報広聴委員会　〒697-8501　島根県浜田市殿町1番地 TEL(0855)25-9800　FAX(0855)22-6765